

## きらり☆みらいへ ～小学部の進路学習～

社会の様々な制度やサービスに関して理解し、実際の生活で利用ができると、とても暮らしやすくなりますね。今回のキャリア通信では、進路指導で育成を目指す「人間関係形成能力」「情報活用能力」「将来設計能力」「意思決定能力」のうち、「情報活用能力」についてご紹介します。

### ～放課後等デイサービスの活用～



自宅で面倒を見られるので、必要ありません。

→ このような考えで利用しないケースもありますが、放デイは「障害児の自立を促進することを目的とした支援」であり、自宅で面倒が見られない場合の単なる「預け先」ではありません。

一方で保護者支援の要素もあります。「うちで面倒を見られる」と言っても、実は家族の誰か一人に負担が偏っているケース等もありますので、負担の軽減や分散も利用する理由になります。「まだがんばれるから。」「なんとか自分でできるから。」とがんばれる限界まではがんばろうという家庭もありますが、「ゆとり」のために利用しても良いのです。

### ～補装具費支給制度の理解～



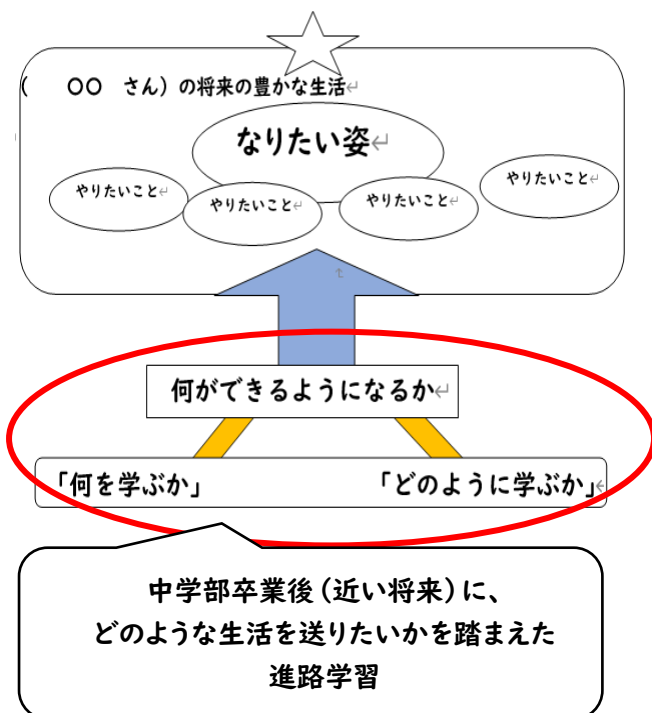
来年になったら車椅子を買う補助金が出るから、そうしたら新しい車椅子にするよ。

→ 学校で、このように話してくれた児童がいました。支給制度や支援サービスについて、ご家庭でお子さんにも分かりやすく伝えることで、「こんなサービスがあるんだ。」「大人になったらこんな風に支援を申請すればいいんだ。」と実感することができますね。

## 中学部

2月15日に中学部3年生は高等部入学選考に臨みました。進路学習では、高等部入学の志望理由を確認すると共に挨拶、返事の大切さやマナー等を学びました。

ところで、中学部の生徒の進路は一つではありません。主な進学先に本校高等部、高等学校、サポート校（通信制の高校に通う生徒をサポートする教育施設）等、様々な選択肢があります。大切なのは、将来のなりたい姿を描き、そのために必要な道筋や手段を考えることです。



### 3年生進路学習の様子(入学選考に向けて)

入学選考直前の学習では、主に面接の練習をしました。願書に書いた志望理由をもとに、質問を想定して、自分の気持ちや考えを伝えられることを目標に取り組みました。

面接は保護者の方と一緒にを行うので、学校で学んだ時の答え方や、生徒の様子をワークシートに記入して保護者の方に伝え、共有できるようにしました。学校での面接練習では、緊張していたり、集中しにくかったりすることもありましたが、相手に伝わるような返事ができるように頑張りました。

「いつもと違う人、場面でもできる力」が大切だという学習になりました。